

DAIFUKU

Automation that Inspires

2024年12月期 第2四半期（中間期）
（2024年4月1日～2024年9月30日）

決算説明資料

2024年11月8日

株式会社ダイフク [6383]

2024年12月期 第2四半期（中間期）実績

受注高

3,339億円

前年同期比

+396億円

+13.5%

北米における空港向けシステムが大きく伸長したほか、一般製造業・流通業、半導体生産ライン、自動車生産ライン向けシステムが順調に推移したことにより、前年同期を上回る。

売上高

3,026億円

前年同期比

+213億円

+7.6%

一般製造業・流通業、半導体生産ライン、空港向けシステムは増収。

営業利益

381億円

前年同期比

+190億円

+100.1%

原材料・人件費高騰に伴うコスト増加分の価格転嫁等の進展により、一般製造業・流通業、半導体生産ライン、自動車生産ライン、空港向けシステムとも改善。

営業利益率

12.6%

前年同期比

+5.8pt

01

連結決算

売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、中間期で過去最高を更新。

(億円)	2024/3期H1	2024/12期H1	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	2,943	3,339	+ 396	+ 13.5%
売上高	2,812	3,026	+ 213	+ 7.6%
営業利益	190	381	+ 190	+ 100.1%
営業利益率	6.8%	12.6%	+5.8pt	—
経常利益	208	381	+ 173	+ 83.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	142	297	+ 155	+ 109.2%
一株当たり中間純利益 (円)	37.69	80.15	+ 42.46	+ 112.6%

為替レート (円)	2024/3期H1	2024/12期H1
米ドル	136.54	154.08
中国元	19.55	21.26
韓国ウォン	0.1047	0.1133

為替影響

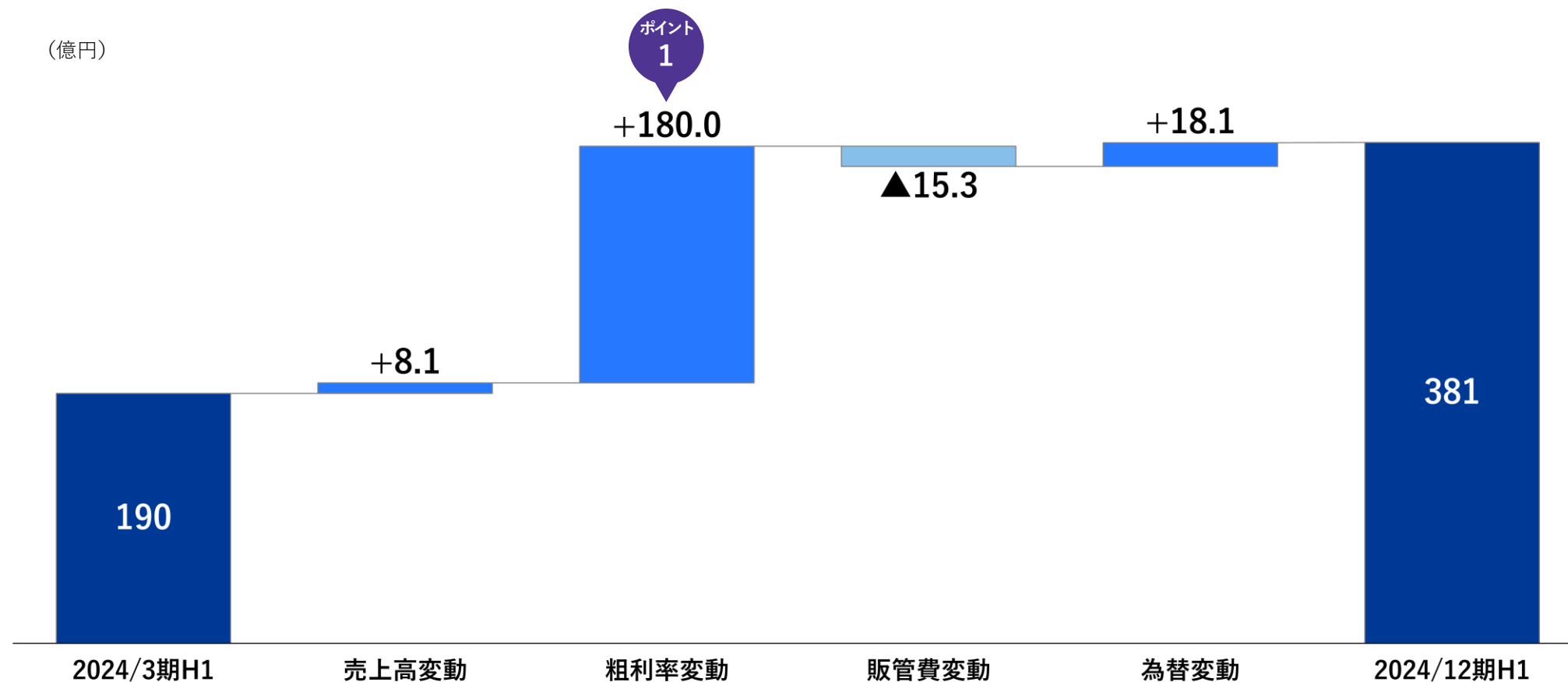
受注高 **+379億円**
 期中受注分
 +181億円
 前期末受注残高変動分
 +198億円

売上高 **+163億円**

営業利益 **+18億円**

ポイント
1

原材料・人件費高騰に伴うコスト増加分の価格転嫁の進展が大きく寄与。



ポイント 1 **ダイフク**
売上は、いずれの領域も順調に推移。セグメント利益は、増収効果、価格転嫁の進展等により増加。

ポイント 3 **Clean Factomation**
受注は、低調だった前年から回復基調。

ポイント 2 **Daifuku North America**
受注は、空港向けが好調に推移し、増加。

ポイント 4 **Daifuku (Suzhou) Cleanroom Automation**
豊富な前期末受注残高をベースに、売上・セグメント利益ともに増加。

(億円)	受注高 (外部顧客からの受注高)			売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント利益 (親会社株主に帰属する中間純利益)		
	2024/3期H1	2024/12期H1	増減額	2024/3期H1	2024/12期H1	増減額	2024/3期H1	2024/12期H1	増減額
ポイント 1 ダイフク	1,023	1,053	+30	1,033	1,214	+181	125	176	+51
コンテック	109	96	▲12	89	92	+3	5	3	▲1
ポイント 2 Daifuku North America	905	1,168	+262	880	864	▲16	52	61	+8
ポイント 3 Clean Factomation	122	123	+1	146	129	▲16	7	9	+1
ポイント 4 Daifuku (Suzhou) Cleanroom Automation	305	252	▲53	103	252	+148	16	70	+53
その他	476	644	+167	547	464	▲83	▲17	19	+37
連結調整等	—	—	—	11	7	▲3	▲48	▲43	+4
合計 (調整後)	2,943	3,339	+396	2,812	3,026	+213	142	297	+155

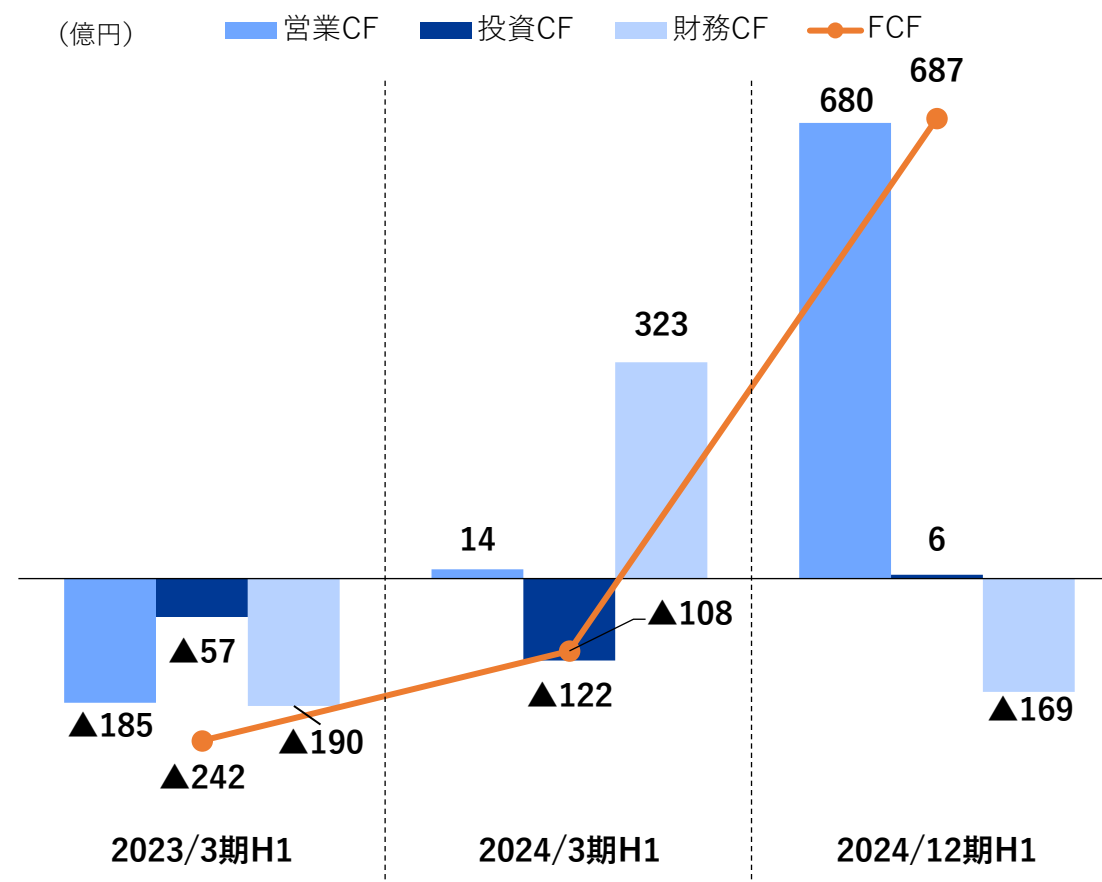
連結貸借対照表

(億円)	2024年3月末	2024年9月末	増減額
流動資産	4,964	5,298	+334
現金及び預金	1,420	1,997	+577
売上債権	2,716	2,425	▲290
棚卸資産	664	665	+0
その他	162	210	+47
固定資産	1,497	1,596	+99
有形固定資産	774	837	+63
無形固定資産	121	125	+4
投資その他の資産	601	633	+31
資産合計	6,461	6,895	+434

(億円)	2024年3月末	2024年9月末	増減額
流動負債	2,113	2,177	+63
仕入債務	805	744	▲61
契約負債	795	970	+174
その他	512	462	▲49
固定負債	760	773	+13
負債合計	2,873	2,950	+76
株主資本	3,197	3,399	+202
純資産合計	3,587	3,944	+357
負債・純資産合計	6,461	6,895	+434

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2024/3期H1	2024/12期H1	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	14	680	+666
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲122	6	+129
フリー・キャッシュ・フロー	▲108	687	+795
財務活動によるキャッシュ・フロー	323	▲169	▲493
現金及び現金同等物の期末残高	1,288	1,974	+685



仕向地別受注高・売上高

ポイント 1 日本
受注は、一般製造業・流通業、
自動車生産ライン向けが減少。

ポイント 2 北米
受注は、一般製造業・流通業、
自動車生産ライン、空港向けが
増加。

ポイント 3 中国
売上は、半導体生産ライン向け
が増加。

ポイント 4 韓国・台湾
受注は、半導体生産ライン向け
が回復基調にあり増加。

(億円)	受注高					売上高				
	2024/3期H1	構成比	2024/12期H1	構成比	増減額	2024/3期H1	構成比	2024/12期H1	構成比	増減額
日本	849	28.8%	763	22.8%	▲85	906	32.4%	932	30.9%	+26
海外	2,093	71.2%	2,575	77.2%	+481	1,894	67.6%	2,085	69.1%	+190
北米	1,007	34.2%	1,193	35.7%	+186	889	31.8%	886	29.4%	▲3
アジア	918	31.2%	1,172	35.2%	+253	782	27.9%	998	33.1%	+216
中国	618	21.0%	489	14.7%	▲128	323	11.5%	578	19.2%	+255
韓国	138	4.7%	171	5.1%	+33	159	5.7%	175	5.8%	+15
台湾	23	0.8%	345	10.4%	+321	161	5.8%	133	4.4%	▲28
その他	138	4.7%	165	5.0%	+26	136	4.9%	110	3.7%	▲26
欧州	114	3.9%	69	2.1%	▲45	88	3.1%	75	2.5%	▲12
中南米	37	1.3%	38	1.2%	+1	55	2.0%	36	1.2%	▲19
その他	16	0.6%	101	3.0%	+85	79	2.8%	88	2.9%	+9
小計	—	—	—	—	—	2,801	100.0%	3,018	100.0%	+217
連結調整等	—	—	—	—	—	11	—	7	—	▲3
合計	2,943	100.0%	3,339	100.0%	+396	2,812	—	3,026	—	+213

ポイント 1 自動車及び自動車部品
受注は、北米向けが増加。

ポイント 2 エレクトロニクス
受注は、レガシー半導体向けが高水準を維持するとともに、先端半導体向けが回復基調。売上は、レガシー半導体向けが好調。

ポイント 3 商業及び小売業
受注は、北米向けが寄与。

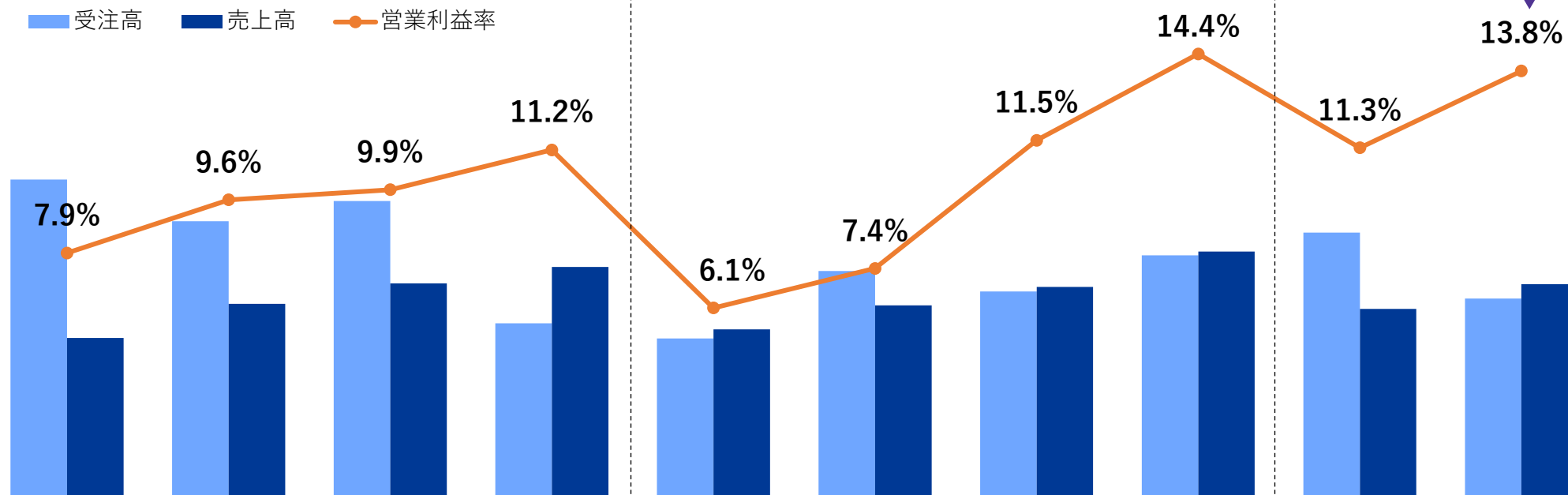
ポイント 4 空港
受注は、北米向けが好調。

(億円)	受注高					売上高				
	2024/3期H1	構成比	2024/12期H1	構成比	増減額	2024/3期H1	構成比	2024/12期H1	構成比	増減額
自動車及び自動車部品	385	13.1%	492	14.7%	+106	352	12.6%	381	12.6%	+28
エレクトロニクス	988	33.6%	1,019	30.5%	+30	934	33.4%	1,048	34.7%	+113
商業及び小売業	494	16.8%	676	20.3%	+182	723	25.8%	638	21.2%	▲84
運輸・倉庫	132	4.5%	173	5.2%	+41	97	3.5%	149	4.9%	+51
機械	53	1.8%	40	1.2%	▲13	45	1.6%	56	1.9%	+10
化学・薬品	147	5.0%	94	2.8%	▲52	120	4.3%	135	4.5%	+15
食品	309	10.5%	82	2.5%	▲227	75	2.7%	120	4.0%	+45
鉄鋼・非鉄金属	35	1.2%	23	0.7%	▲11	27	1.0%	24	0.8%	▲3
精密機器・印刷・事務機	18	0.6%	25	0.8%	+6	19	0.7%	26	0.9%	+6
空港	258	8.8%	610	18.3%	+351	303	10.8%	306	10.2%	+3
その他	118	4.1%	100	3.0%	▲17	99	3.6%	130	4.3%	+30
小計	-	-	-	-	-	2,801	100%	3,018	100.0%	+217
連結調整等	-	-	-	-	-	11	-	7	-	▲3
合計	2,943	100%	3,339	100.0%	+396	2,812	-	3,026	-	+213

ポイント
1

原材料・人件費のコスト増加分の価格転嫁の進展等により収益性が改善。

■ 受注高 ■ 売上高 ● 営業利益率

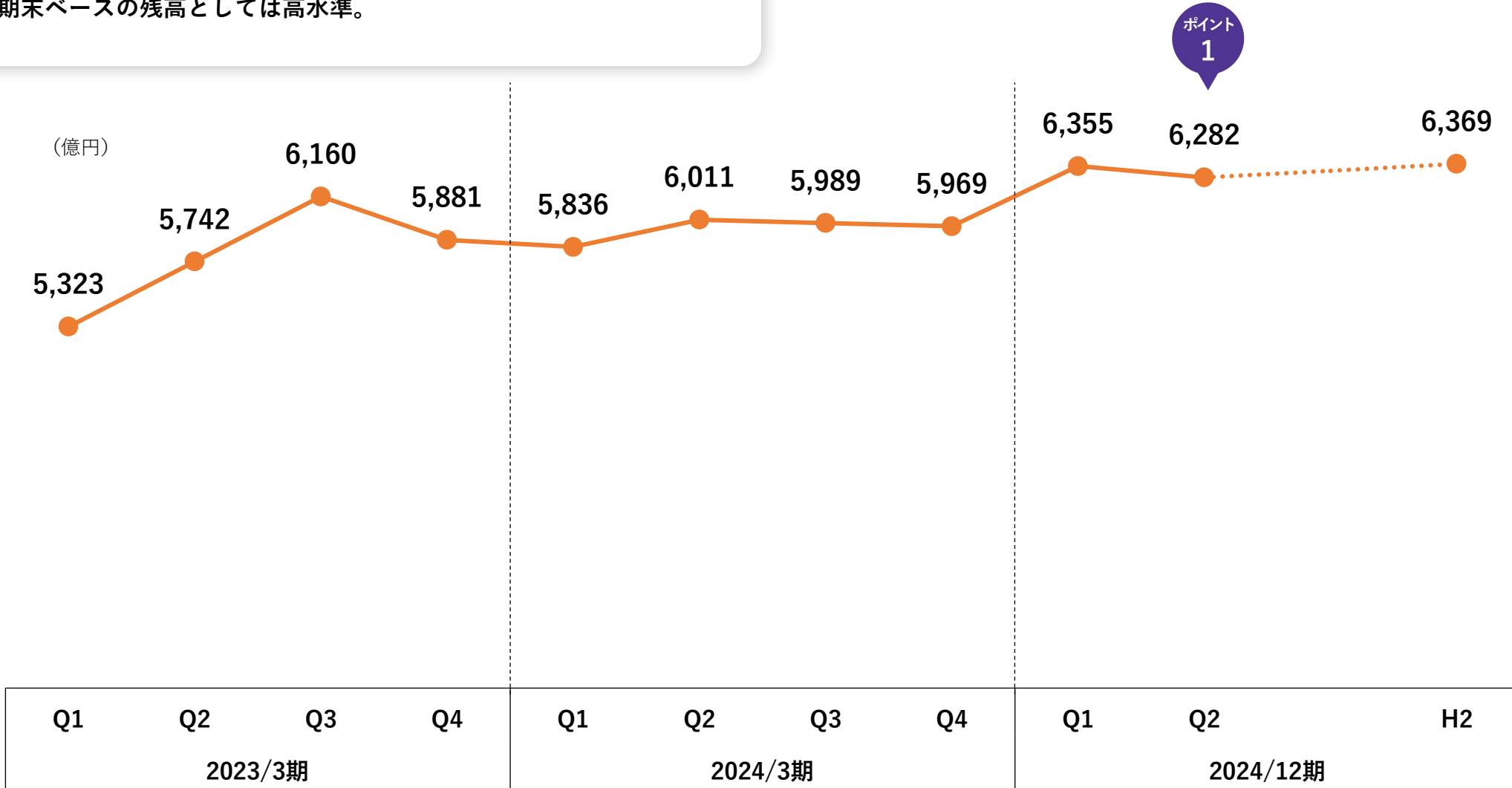


ポイント
1

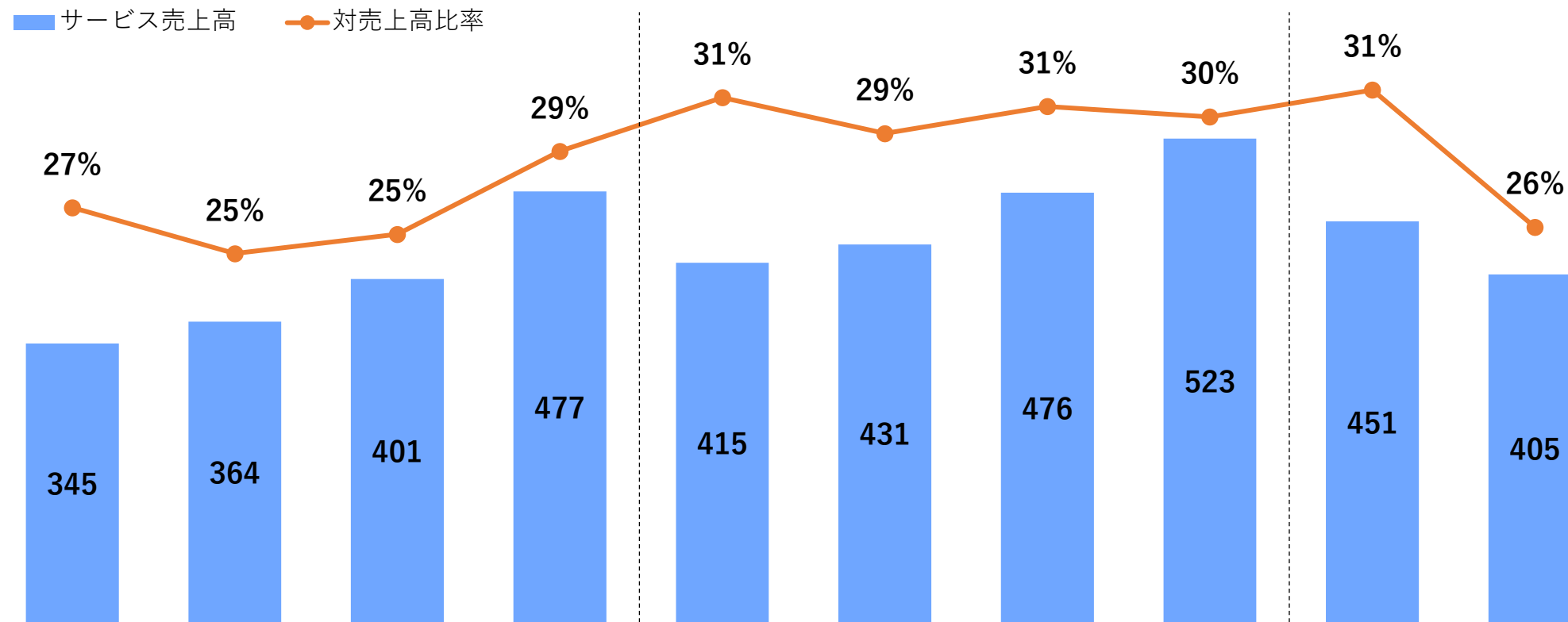
(億円)	2023/3期				2024/3期				2024/12期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
受注高	2,106	1,894	1,997	1,376	1,300	1,642	1,538	1,721	1,836	1,502
売上高	1,302	1,475	1,579	1,662	1,345	1,467	1,561	1,740	1,450	1,575
営業利益	102	141	157	186	82	108	180	249	164	217

ポイント
1

四半期末ベースの残高としては高水準。



ポイント
1



(億円)	2023/3期				2024/3期				2024/12期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
通期合計	1,588				1,846				1,489 (予想)	

(億円)	2023/3期				2024/3期				2024/12期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
自動車及び自動車部品	180	224	235	257	195	190	170	372	189	302
エレクトロニクス	984	872	542	314	406	582	397	527	490	529
商業及び小売業	503	341	793	240	222	271	557	343	396	280
運輸・倉庫	54	62	65	105	68	63	64	89	133	39
機械	42	22	18	32	23	29	44	16	21	19
化学・薬品	114	89	56	69	80	67	50	88	55	38
食品	31	36	66	38	68	241	53	60	42	40
鉄鋼・非鉄金属	15	9	11	17	22	13	15	17	18	5
精密機器・印刷・事務機	24	19	7	8	9	9	10	10	17	8
空港	109	195	113	204	135	122	128	144	418	192
その他	45	18	86	86	67	50	45	50	53	47
合計	2,106	1,894	1,997	1,376	1,300	1,642	1,538	1,721	1,836	1,502

(億円)	2023/3期				2024/3期				2024/12期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
自動車及び自動車部品	115	147	175	216	161	191	211	250	164	216
エレクトロニクス	432	526	634	564	449	485	508	592	483	565
商業及び小売業	416	404	387	400	362	360	385	366	336	302
運輸・倉庫	82	77	66	77	48	49	66	83	70	79
機械	29	30	21	21	20	25	29	27	22	33
化学・薬品	42	57	60	86	61	59	61	69	58	77
食品	31	33	42	50	28	46	52	78	62	57
鉄鋼・非鉄金属	7	11	14	14	12	14	11	15	11	12
精密機器・印刷・事務機	11	16	15	21	11	8	11	13	11	14
空港	91	113	124	132	142	160	167	187	175	130
その他	43	48	42	57	49	50	72	66	48	82
小計	1,303	1,467	1,584	1,642	1,349	1,451	1,579	1,750	1,446	1,572
連結調整等	▲1	7	▲5	19	▲4	15	▲18	▲9	4	3
合計	1,302	1,475	1,579	1,662	1,345	1,467	1,561	1,740	1,450	1,575

02

業績予想

2024年12月期 決算期変更について

2024年6月21日開催の定時株主総会決議をもって、当社グループの決算期は毎年3月31日から毎年12月31日に変更となりました。経過期間となる今期2024年12月期は、株式会社ダイフクならびに国内中心の3月末決算の子会社は2024年4月1日から12月31日までの9カ月間を、海外中心の子会社は2024年1月1日から12月31日までの12カ月間を連結対象期間としています。

	2024年3月期	2024年12月期			2025年12月期
		第1四半期	第2四半 (中間) 期	下期	
国内	2023年4月1日～ 2024年3月31日	2024年4月1日～ 12月31日	4月1日～ 6月30日	7月1日～ 9月30日	2025年1月1日～ 12月31日
海外	2023年1月1日～ 12月31日	2024年1月1日～ 12月31日	1月1日～ 3月31日	4月1日～ 6月30日	

参考として国内の2025年1～3月予想を合算した12カ月予想も掲載しています。

	2024年				2025年
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
国内		Q1	Q2	下期 3カ月	
		上期			
		通期 9カ月			
	参考(国内12カ月)				
海外	Q1	Q2	下期 6カ月		
		上期			
		通期 12カ月			

受注高

売上高

営業利益

2024年12月期 予想

5,900億円

8月公表より

修正なし

5,500億円

8月公表より

修正なし

640億円 営業利益率
11.6%

8月公表より

80億円上方修正 +1.4pt

2024年12月期 参考(国内12カ月)

6,600億円

8月公表より 100億円上方修正

前年比 +396億円 +6.4%

先端半導体向け投資が回復基調にあり、半導体後工程投資の本格化も見込む。

6,300億円

8月公表より 修正なし

前年比 +185億円 +3.0%

豊富な前期末受注残高をベースに計画通り順調に推移することを見込む。

750億円 営業利益率
11.9%

8月公表より 60億円上方修正 +0.9pt

前年比 +129億円 +20.8%
営業利益率 +1.7pt

原材料・人件費高騰に伴うコスト増加分の価格転嫁等の進展により、収益性の改善を見込む。

2024年12月期 連結業績予想

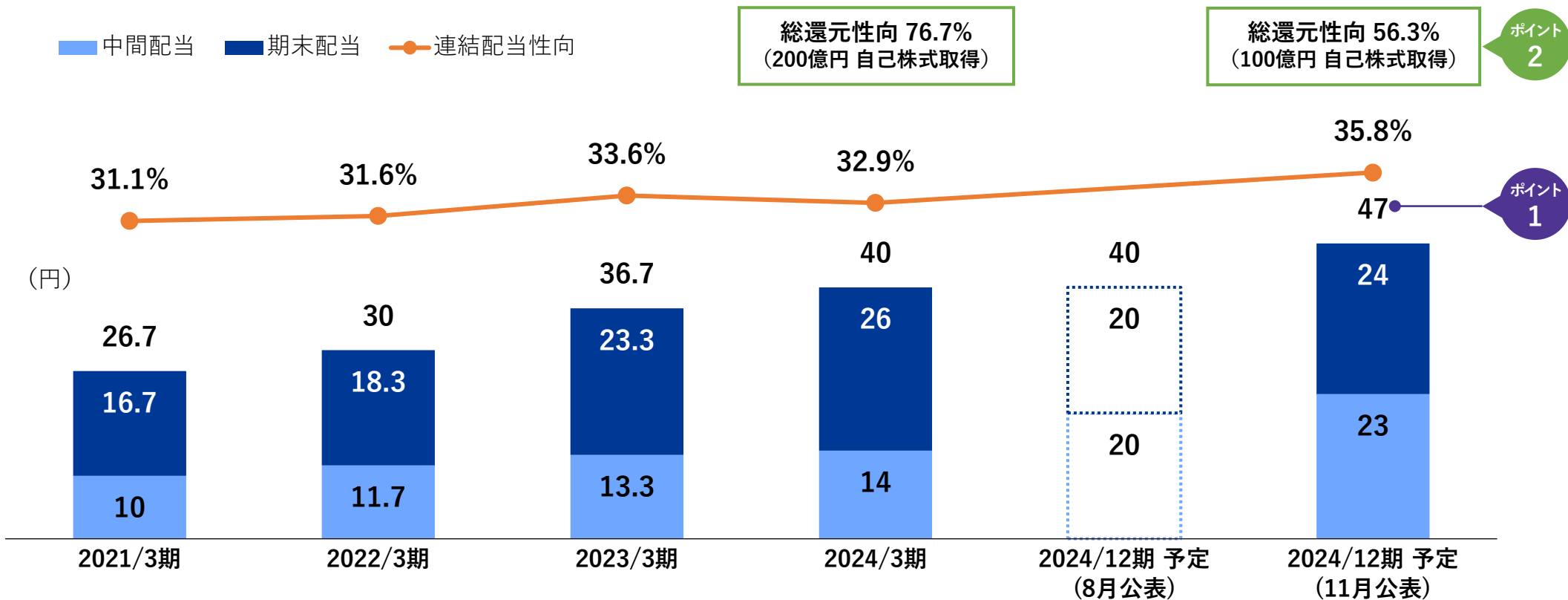
(億円)	2024/3期	2024/12期 予想								前年同期比	
	通期 [a]	5月公表	8月公表	11/8公表	前回比	参考 (国内12カ月)				(b-a)	
						5月公表	8月公表	11/8公表 [b]	前回比	増減額	増減率
受注高	6,203	5,750	5,900	5,900	–	6,300	6,500	6,600	+100	+396	+6.4%
売上高	6,114	5,500	5,500	5,500	–	6,300	6,300	6,300	–	+185	+3.0%
営業利益	620	520	560	640	+80	655	690	750	+60	+129	+20.8%
営業利益率	10.2%	9.5%	10.2%	11.6%	+1.4pt	10.4%	11.0%	11.9%	+0.9pt	+1.7pt	–
経常利益	642	535	590	660	+70	671	720	775	+55	+132	+20.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	454	390	420	485	+65	484	517	600	+83	+145	+32.0%
一株当たり当期純利益 (円)	121.63	105.22	113.30	131.12	+17.82	130.58	139.47	162.21	+22.74	+40.58	+33.4%

為替レート (円)	2024/3期	2024/12期 計画
米ドル	141.20	151.63
中国元	19.87	21.06
韓国ウォン	0.1080	0.1120

[注] 業績予想は、左記計画レートをベースとしつつ、足元の為替レート水準も考慮して策定。2024年11月8日開催の取締役会において、2024/12期末までに100億円の自己株式取得を決議。2024年12月期予想の1株当たり当期純利益は、当該自己株式取得の影響を考慮して算出。

ポイント 1 当社グループ業績の特に利益面での順調な進捗を勘案し、年間で7円を増配予定。

ポイント 2 資本効率の向上、株主還元のさらなる拡充を目的として、2024年11月11日から12月31日までに100億円の自己株式取得を決定。



[注] 2023/3期以前の配当額は、株式分割（2023年4月1日、1株→3株）からさかのぼって便宜的に計算したものです。

2024年11月8日開催の取締役会において、2024/12期末までに100億円の自己株式取得を決議。2024/12月期の連結配当性向、総還元性向は当該自己株式取得の影響を考慮して算出。

03

トピックス

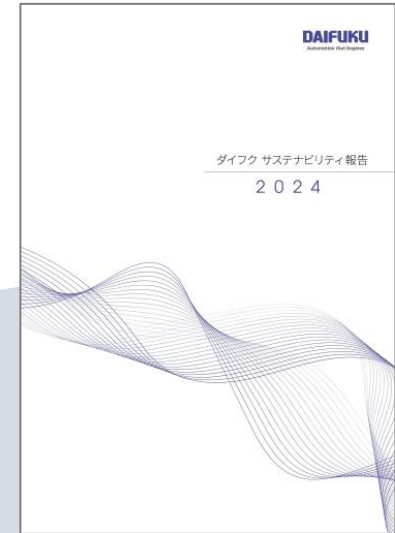
ダイフクレポート2024



2024年10月、統合報告書「ダイフクレポート2024」を発行しました。本書では、当社グループ初となる長期ビジョン「Driving Innovative Impact 2030」への想いや、その実現に向けたストーリーを紹介しています。

詳細はこちら www.daifuku.com/jp/ir/library/annualreport

サステナビリティ報告2024



2024年9月、「サステナビリティ報告2024」を発行しました。本書は、サステナビリティに関するウェブサイトの情報開示をPDFにまとめたものです。

詳細はこちら www.daifuku.com/jp/sustainability/report

滋賀事業所内「結いの森」が「自然共生サイト」の認定を取得

2024年9月、当社のマザー工場である滋賀事業所内の「結いの森」が、環境省の「自然共生サイト」に認定されました。「自然共生サイト」とは、「民間の取り組み等によって生物多様性の保全が図られている区域」を環境省が認定する制度で、2030年までに陸と海の30%以上で生態系を保全しようとする国際目標（30by30目標）を達成するために2023年から始まった認定制度です。

「結いの森」は、2014年に開始した当社の生物多様性保全活動「結いプロジェクト*」の一環として、滋賀事業所内に、池に沿った散策コース、保全池、生きもの観察湿地、アカマツ育成エリアなどを整備したもので、森林や希少種の保全や社内外の交流の場として活用しています。



結いの森全体図 サイト面積2.63ha



散策路



観察湿地

* 生物多様性保全を通じて、「水と緑」「自然と人」「人と人」を結び付ける諸活動

生物多様性保全 www.daifuku.com/jp/sustainability/environment/biodiversity

環境省「自然共生サイト」 policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei

DAIFUKU

Automation that Inspires

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。